

2026年度青山学院大学一般選抜(個別学部日程)

文学部フランス文学科 B方式

総合問題

【出題意図】

本文は、二〇二〇年のコロナ禍がもたらした、「変わる筈のない日常と思っていたものがあっけなく流動化し、不確実なものになる」という希有の経験を、疫病による不可避の死を前にした「敗北の記録」としてのカミュの小説『ペスト』の読解を通して考察することで、歴史叙述における「生の脆弱さの感覚」の重要性に目を向けようとするもの。

問一は言葉の知識を問う問題（文脈に則してカナ表記を漢字に改める）。

問二では、「代替の効かない当事者」による微視的・非物語的記述としての『ペスト』の歴史叙述の特異性、問三では、筆者の言う「誠実さ」の内容を踏まえた文章全体の論旨の理解を前提に、それぞれ読解力、論理的な思考力および文章構成能力を見る。